

超精密とメカトロメーションを追求する

Seibu

第82期 株主報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144

西部電機は技術と品質で、 そして独自の創造力で広く世界に貢献いたします。

当社は「超精密とメカトロメーション®の追求」を理念に、
物流マテハンシステム、産業機械、放電加工機、工作機等、多彩な技術で
明日を拓くメカトロニクスメーカーです。

搬送機械事業

コンパクトで経済的なシステムを構築できる
当社独自の技術力と、ソフトウェア
開発を組み合わせた「総合物流
ソリューション」を
提案しています。



産業機械事業



水・電気・ガス・石油などエネル
ギーを暮らしに導くため大切
な役割を担うバルブアクチュ
エータとゲート駆動装置を提
供しています。

Seibu

精密機械事業

ピッチ加工精度で定評のワイヤ
放電加工機、小物精密部品加工に
応えるNC旋盤、自由形状加工を
可能とした切削加工機などを
開発しています。



当社は平成27年4月1日付で、産業機械事業部精密機械部門を独立させ、精密機械事業部とする組織変更を行っております。

顧客第一に徹し、創意工夫で日々前進してまいります



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第82期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成27年6月

取締役社長 厩地敏一郎

Q 当期に業績について教えてください。

A 国内の設備投資意欲の回復から受注高は好調に推移いたしました。減収減益となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策の推進を背景に、株価の持ち直しや円安による輸出企業の業績改善がみられるなど、緩やかな景気回復基調を辿りました。しかしながら、消費税増税による個人消費の回復の遅れや新興国経済の下振れリスクなどの懸念材料を抱えており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この様な情勢の中で、2013年度から2015年度までの中期経営計画「SAP15(Seibu Action Plan for 2015)」を策定し、当社グループは、「商品力の向上」ならびに「販売力の強化」によって安定成長を実現するよう邁進してまいりました。

その結果、当社グループの連結業績は、企業の国内設備投資意欲の回復もあり、受注高は183億5千2百万円(前期比 17.2%

増)となりましたが、売上高は輸出が増加しましたものの、前期は大口物件の納入があったこともあり、159億6千万円(前期比 8.9%減)となりました。利益面では、コストダウンや経費削減等当社グループを挙げて注力いたしました結果、経常利益は11億2千9百万円(前期比 30.7%減)、当期純利益は6億2千2百万円(前期比 32.7%減)となりました。

Q 次期の見通しについてはいかがですか。

A 新中期経営計画「チャレンジ200」を策定し、企業体質の強化と成長に努めてまいります。

次期のわが国経済は、政府による経済政策や円安局面の定着を背景に緩やかな回復基調が予想されますものの、個人消費などの回復の遅れや海外経済の下振れ懸念などもあり、先行き不安定な状況で推移するものと思われまます。

当社グループといたしましては、中期経営計画の見直しを図り、今後発展していくために到達すべき目標として、新たに「チャレンジ200」を策定いたしました。

どのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜く所存であります。

更にはコストダウンや経費削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

Q 株主還元について教えてください。

A 当期の期末配当金は、創業88周年の記念配当2円を加え、1株当たり7円とさせていただきます。

当社は、平成27年1月をもって創業88周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

つきましては、株主の皆様にご感謝の意を表し、平成27年3月期の期末配当につきましては、1株当たり5円の普通配当に記念配当2円を加え、1株当たり合計7円とすることいたしました。

この結果、中間配当金を含めました当期の配当金は、1株につき12円となります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

搬送機械 事業

ロボット配分システムの開発・納入

わが国は労働人口が減少の傾向にあり、これを補うためにロボットの需要が加速度的に増加してきています。マテハン事業部は、この動向に追従するため、現在人手で行っているピッキング作業を「ロボット作業」に移行するべく、画像解析技術とロボット技術を組み合わせ、ロボット配分システムの開発を行いました。

開発当初は、画像解析の精度不足からのピッキングミスや、ロボットと「人の手」との優しさの違いから、商品に僅かな傷をつける等の問題も発生しましたが、粘り強く改善を繰り返して克服し、平成27年1月に某食品メーカーに納入いたしました。このシステムの導入によって、お客様の作業効率は大きく改善され、次システム導入の計画も進んでいます。

今後更なる機能改善を加えて、国内外への拡販を展開してまいります。



搬送機械 事業

ボイスピッキングシステムの開発・納入



近年は、『食の安全』についてメディアでも多く報道され、世の中の関心事となっています。そのため各食品メーカーは、安全な食品をお客様に提供しつつ作業生産性も向上させるために、作業方法の改善や新システムの採用を積極的に模索しています。

これらの諸問題を解決すべく、出荷に必要なピッキング作業を「手」を使わずに音声のガイダンスで進行する「ボイスピッキング」の開発を行いました。平成26年9月には国際物流総合展に出展し、平成27年2月に、初システムを某食品メーカーに納入いたしました。

お客様からは、「作業が楽になった」と高い評価をいただいています。特に低温環境等ではその効果を大きく発揮します。

今回の納入実績を活かして、今後も国内外で当システムの拡販を展開してまいります。

産業機械 事業

産機部門

新日鐵住金株式会社殿君津製鐵所向けインテリジェント式電動バルブアクチュエータ [Semflex-VP] およびPROFIBUS-DP通信システムを受注

新日鐵住金(株)殿名古屋製鐵所への納入に引き続き、君津製鐵所でも同様案件を受注しました。

製鐵所にてコークスを生成する工場のガス排出ライン(92ライン)の流量調節バルブの開閉および排出ガス再資源化を行うための中和水の調整弁を開閉する為のバルブの電動駆動用として使用されます。

PROFIBUS-DP通信を用いた制御方式を採用したことにより、現場機器(バルブアクチュエータ)間で数珠繋ぎに接続が可能のため、通信信号線の配線コスト・工数が低減されるメリットがあります。また、豊富な信号量によりバルブアクチュエータ本体の自己診断データの送受信が可能となります。

今回は当社が新規開発した通信信号の電圧低下を自動検知するシステムも追加搭載し、アクチュエータ単体だけでなく上位制御盤システムまでの受注となりました。



Semflex-VP



PROFIBUS-DP通信システム 状態監視画面

産業機械
事業

産機部門

水平陸閘電動駆動装置 「水閘電:HPM-Vシリーズ」の開発・拡販

産機部門では、高潮や増水時に確実・迅速に閉鎖することが求められる陸閘の新型電動駆動装置を開発・商品化しました。陸閘とは、通常時、堤防、護岸の前面の漁港、港湾を利用するために車両および人が通行できるように設けた海岸保全施設のことです。

この陸閘駆動を省力化するため、開閉運転時にシール材の抵抗が少なくなるように扉体を持ち上げて開閉させたいという市場ニーズがあり、これに対応するため、昇降式陸閘電動駆動装置「HPM-Vシリーズ」を開発しました。商品の特徴としては、駆動力伝達はピンラックとスプロケットで行うため位置ズレがなく、扉体の昇降による影響もありません。また、従来機種種のHPMシリーズ同様、ゲート駆動に必要な機構をまとめたコンパクトかつシンプルな設計により省スペース化が図れます。

平成27年度は、東北地区で陸閘設備が多数計画されており、水閘電シリーズの拡販で受注売上増が期待できます。



産業機械
事業

精密機械部門

好調な販売台数の推移

平成26年度は、円安の定着化で、輸出産業は全般的に元気を取り戻しました。

このような中、精密機械部門は円安の恩恵もあり、海外を中心に大きく売上を伸ばしました。特にワイヤ放電加工機は、自動供給装置、コア・ステッチ、サーマルアジャスト24などのオンリーワン機能と、他社がまねできないピッチ加工精度を武器に販売展開を行い、納入先から高い製品評価を頂き、その評判が広がり拡販につながりました。

今後も更なる拡販に向けて全力で取り組んでまいります。

産業機械
事業

精密機械部門

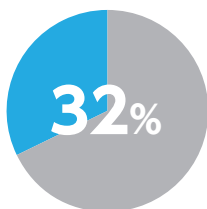
ワイヤ放電加工機:新製品「Ultra MM 50 B」の 開発と受注開始

平成26年度に新製品「Ultra MM 50 B」を開発し、受注を開始しました。本機の特徴は、ピッチ加工精度 ± 1 ミクロンに加えて、新型ワイヤ走行系と絶縁テーブル採用により面粗度が一段と向上したことです。また、新型CNCの採用と手元ペンダントの機能UPにより、処理速度と操作性が格段に向上しました。東京ビッグサイトで開催された日本国際工作機械見本市(JIMTOF2014)に出展し、ご好評をいただきました。展示会出展後からの受注も順調で、当初の受注目標を大きく上回りました。今後もお客様のご要望に応えた新製品の開発に取り組んでまいります。



Ultra MM 50 B

■ 搬送機械事業



売上高 **5,120**百万円

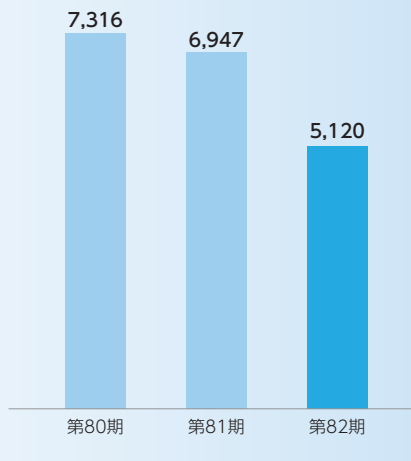
(前期比 26.3%減)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

その結果、国内の設備投資の回復もあり、受注高は71億1千2百万円(前期比 48.8%増)、売上高は前期に大口物件の納入があったこともあり、51億2千万円(前期比 26.3%減)となりました。

売上高

単位：百万円



主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- ピースピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム

立体自動倉庫



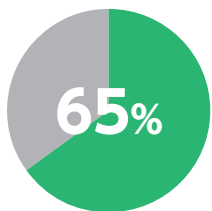
ケース自動ピッキングシステム(メディカルクレーン)



搬送・ハンドリングシステム(蓋付きオリコン組立機)



産業機械事業



売上高 **10,400**百万円

(前期比 2.8%増)

産業機械事業の産機部門では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。また、精密機械部門では、既存顧客の更新需要や海外市場の開拓に注力してまいりました。

その結果、円安効果もあり輸出が増加し、受注高は108億2百万円(前期比 3.6%増)、売上高は104億円(前期比 2.8%増)となりました。

売上高 単位：百万円



主要商品

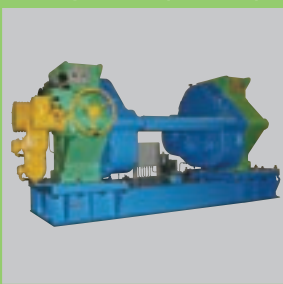
産機部門

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置

バルブアクチュエータ・プラント



ゲート駆動装置(大型60t)



精密機械部門

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 高精度小形NC旋盤
- 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様)
- 正面旋盤

ワイヤ放電加工機(油仕様)



高精度小形NC旋盤



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

連結貸借対照表

科 目	第82期	第81期	科 目	第82期	第81期
	平成27年3月31日	平成26年3月31日		平成27年3月31日	平成26年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	15,277	15,289	流動負債	6,502	7,254
現金及び預金	6,543	5,821	支払手形及び買掛金	1,584	1,705
受取手形及び売掛金	6,745	7,797	電子記録債務	2,736	2,994
仕掛品	619	530	短期借入金	620	620
原材料及び貯蔵品	1,098	797	未払費用	1,001	1,098
繰延税金資産	212	280	未払法人税等	274	648
その他	57	65	役員賞与引当金	26	42
貸倒引当金	△0	△2	その他	258	145
固定資産	12,304	12,186	固定負債	3,033	3,516
有形固定資産	8,656	8,909	長期借入金	336	336
建物及び構築物	3,096	3,331	長期未払金	5	7
機械装置及び運搬具	381	403	繰延税金負債	85	—
土地	5,006	5,006	再評価に係る繰延税金負債	1,555	1,716
その他	171	168	役員退職慰労引当金	213	220
無形固定資産	14	13	退職給付に係る負債	746	1,137
投資その他の資産	3,633	3,263	その他	90	98
投資有価証券	3,111	2,404	負債合計	9,535	10,771
長期貸付金	29	29	純資産の部		
繰延税金資産	22	265	株主資本	13,264	12,739
投資不動産	19	19	資本金	2,658	2,658
その他	483	581	資本剰余金	2,616	2,616
貸倒引当金	△35	△37	利益剰余金	7,993	7,468
			自己株式	△4	△4
			その他の包括利益累計額	4,782	3,965
			その他有価証券評価差額金	1,415	880
			土地再評価差額金	3,285	3,124
			退職給付に係る調整累計額	82	△38
			純資産合計	18,046	16,705
資産合計	27,582	27,476	負債純資産合計	27,582	27,476

■ 連結損益計算書

科 目	第82期	第81期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
売上高	15,960	17,518
売上原価	11,658	12,844
売上総利益	4,302	4,674
販売費及び一般管理費	3,250	3,132
営業利益	1,052	1,541
営業外収益	111	104
営業外費用	33	16
経常利益	1,129	1,629
特別利益	4	13
特別損失	139	14
税金等調整前当期純利益	995	1,628
法人税、住民税及び事業税	284	747
法人税等還付税額	△4	△35
法人税等調整額	92	△8
少数株主損益調整前当期純利益	622	924
当期純利益	622	924

■ 連結包括利益計算書

科 目	第82期	第81期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
少数株主損益調整前当期純利益	622	924
その他の包括利益	816	118
包括利益	1,439	1,043

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第82期	第81期
	平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,008	976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255	△173
現金及び現金同等物の増減額	721	313
現金及び現金同等物の期首残高	5,681	5,368
現金及び現金同等物の期末残高	6,403	5,681

■ 連結株主資本等変動計算書

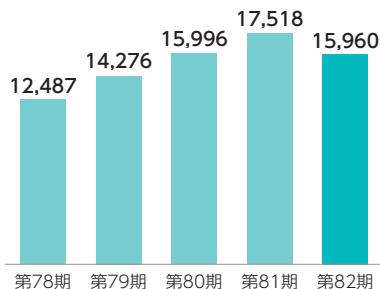
第82期 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益 累計額	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	2,658	2,616	7,468	△4	12,739	3,965	16,705
会計方針の変更による累積的影響額			129		129		129
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,658	2,616	7,598	△4	12,869	3,965	16,834
当期変動額							
剰余金の配当			△227		△227		△227
当期純利益			622		622		622
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						816	816
当期変動額合計	—	—	395	—	395	816	1,212
当期末残高	2,658	2,616	7,993	△4	13,264	4,782	18,046

連結業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

科 目	第78期 平成22年度	第79期 平成23年度	第80期 平成24年度	第81期 平成25年度	第82期 平成26年度(当連結会計年度)
売上高 (百万円)	12,487	14,276	15,996	17,518	15,960
経常利益 (百万円)	492	811	1,157	1,629	1,129
当期純利益 (百万円)	224	290	657	924	622
1株当たり当期純利益	15円98銭	20円56銭	43円41銭	61円04銭	41円08銭
総資産 (百万円)	22,982	24,798	27,087	27,476	27,582
純資産 (百万円)	14,292	15,014	15,855	16,705	18,046
1株当たり純資産額	1,017円23銭	990円71銭	1,046円54銭	1,102円63銭	1,191円19銭
自己資本比率 (%)	62.2	60.5	58.5	60.8	65.4

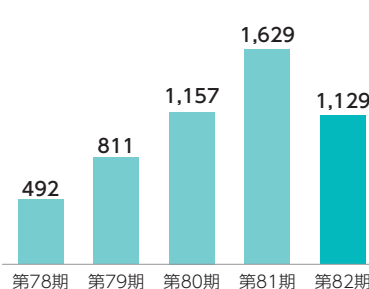
売上高

単位：百万円



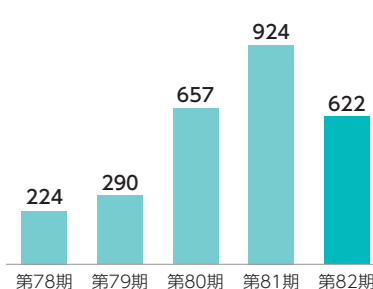
経常利益

単位：百万円



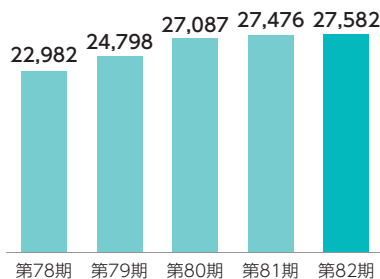
当期純利益

単位：百万円



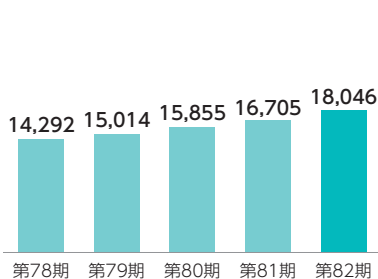
総資産

単位：百万円



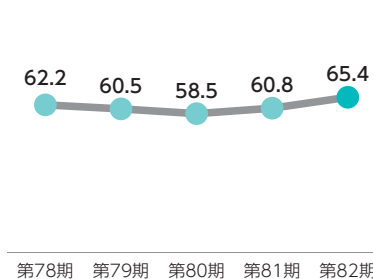
純資産

単位：百万円



自己資本比率

単位：%



平成27年3月31日現在

会社の概況

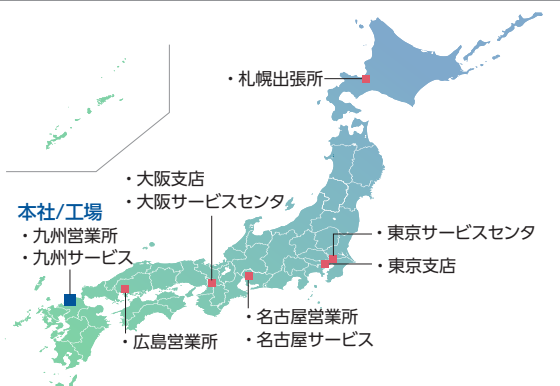
商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	406名(連結459名)

役員

平成27年6月25日現在

取締役会長(代表取締役)	吉住 一成
取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	吉田 一昭

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,248名

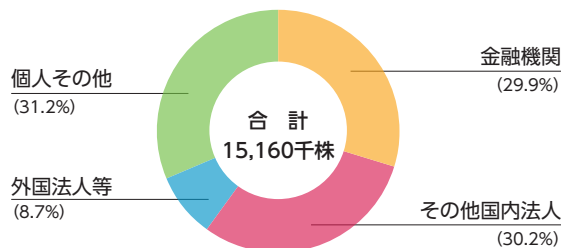
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,547	10.2
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,073	7.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	395	2.6
村上 博	215	1.4

(注) 1. 持株比率は自己株式(9,784株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成26年7月9日付で提出された大量保有報告書の変更報告書により、平成26年7月2日現在同社が2,669,300株(保有割合17.61%)を保有している旨の報告を受けております。しかし、当社として当事業年度末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

【特別口座の株主様へご案内】

1.株式の売買について

「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等を受取るには、証券会社等を通じて受取る「株式数比例配分方式」の手続きが必要となります。「特別口座」の株主様は「株式数比例配分方式」をご利用いただくことが出来ませんので、別途手続きが必要となります。詳細は上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品をつくり、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。